

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科 1 年 A～H 組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）

1 学習の到達目標

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。
 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1単元 現代社会と健康	オリエンテーション	・「保健」学習の意義や内容、評価の方法を理解します。	授業態度 発問評価 検査 プリント 課題の内容
			1 健康の考え方と成り立ち	・健康の考え方がどのように変化してきたか理解する。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。	
			2 私たちの健康のすがた	・わが国の健康水準の変化とその背景について理解する。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	
	5		3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病の種類と要因について理解する。 ・生活習慣の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	
			4 がんの原因と予防	・がんの種類や原因について理解する。 ・がんの一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	
	6		5 がんの治療と回復	・がんのおもな治療法や緩和ケアについて理解する。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的対策について説明できる。	
			6 運動と健康	・健康と運動の関係について理解する。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。	
	7		7 食事と健康	・食事と健康の関係について理解する。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。	
第2学期			8 休養・睡眠と健康	・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について理解する。 ・健康と睡眠の関係及び睡眠のとり方を理解する。	授業態度 発問評価 検査 プリント 課題の内容
			期末考查		
	9		9 喫煙と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害について理解する。 ・喫煙対策について個人と社会に分けて例をあげて説明できる。	
			10 飲酒と健康	・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響について理解する。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。	
			11 薬物乱用と健康	・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。	
	10		12 精神疾患の特徴	・精神疾患の例をあげ発病の要因とおもな症状について理解する。 ・現代社会における精神保健の課題をあげて説明できる。	
			13 精神疾患の予防	・精神疾患を予防する方法について理解する。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。	

第2学期	11		14精神疾患からの回復 15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症・エイズとその予防 18健康に関する意思決定・行動選択 19健康に関する環境づくり 期末考査	・精神疾患の治療について理解する。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためにはどのような社会環境が必要か説明できる。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力について理解する。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。 ・感染症の予防対策について3原則を理解する。 ・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について理解する。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 ・意思決定・行動選択に影響を与える要因について理解する。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。 ・社会環境の健康への影響について理解する。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの特徴について説明できる。	
第3学期	1	第2單元 安全な社会生活	1事故の現状と発生要因 2安全な社会の形成 3交通における安全	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因に関連していることを例をあげて説明できる。 ・安全のために必要な個人の行動について理解する。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境について理解する。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。	授業態度 発問評価 考査 プリント 課題の内容
	2		4応急手当の意義とその基本 5日常的な応急手当	・応急手当の意義について理解する。 ・傷病者を発見したときに確認・観察するポイントを説明できる。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について理解する。 ・実際に日常的なけがや熱中症の応急手当ができる	
	3		6心肺蘇生法 学年末考査	・心肺蘇生法の方法と手順について理解する。 ・実際に心肺蘇生法をおこなうことができる。	

3 評価の観点

知識・技術	現代社会と健康、安全な社会生活、について個人だけでなく社会生活について総合的に理解しようとするとともに、それらの内容に関わる技能を身に付けるようとしている。
思考・判断・表現	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見しようとしたり、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に着けようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、の3観点から総合的に評価する。
 考査は3回実施する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

「保健」という科目は「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間行われます。健康に関する問題がテレビや新聞記事で大きく取り扱われる現状の中で正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択することが求められています。自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解し、日常生活の中での課題を見つけ出し、解決の方法を導き出せる能力を身に付けてください。